

新しい令和三年度が始まりしました。愛知県埋蔵文化財センターでは、本年度もさまざまな事業を計画しています。

まず、発掘調査では、設楽ダムに伴う調査をはじめとして、全部で十事業、十三遺跡にて合計二五〇〇平方メートルを実施する予定です（下図を参照）。その調査成果は愛知埋蔵文化財センターで随時紹介してまいります。また、状況が整えば適宜、現地説明会も開催したいと考えていますので、遺構や遺物が出土している臨場感を味わっていただければと思います。

弥富の調査センターでは、最近までに調査し終えた遺跡の発掘調査報告書を作成するため、遺跡の整理作業を行っています。本年度は六遺跡の報告書作成を進めていきます。

さて、今年も広報・普及活動を多数計画しております。例年とは若干内容を変更し、センターとしては六事業を実施する予定です。

◎春の埋蔵文化財展 今年も「やとみ新発見伝二〇二一」と題して、四月一日から弥富の調査センターの二階にて、昨年度発掘調査した最新成果をご紹介します。

◎連続歴史講座 五月十五日から六月二十六日までの隔週土曜日の午前に歴史講座を計四回開講いたします。今年も考古学の基本的な考え方である「型式学」について学びます。調査員がどのようにして土器や石器の年代や使い方を推理していくのか、その秘伝を伝授します。

埋文桜ニュース

発行日：二〇二一年四月一日
発行者：公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター

か、その秘伝を伝授します。

◎【新企画】発掘調査体験 新たな試みとして大人（中学生以上）を対象として、発掘調査を体験するイベントを夏頃に一回実施する予定です。

◎【新企画】朝日遺跡に関する歴史講座 昨秋に開催しました清須市にある「あいち朝日遺跡ミュージアム」にて、新たに講座を開講いたします。夏頃に一回朝日遺跡の調査に深く関わっている調査員が説明します。

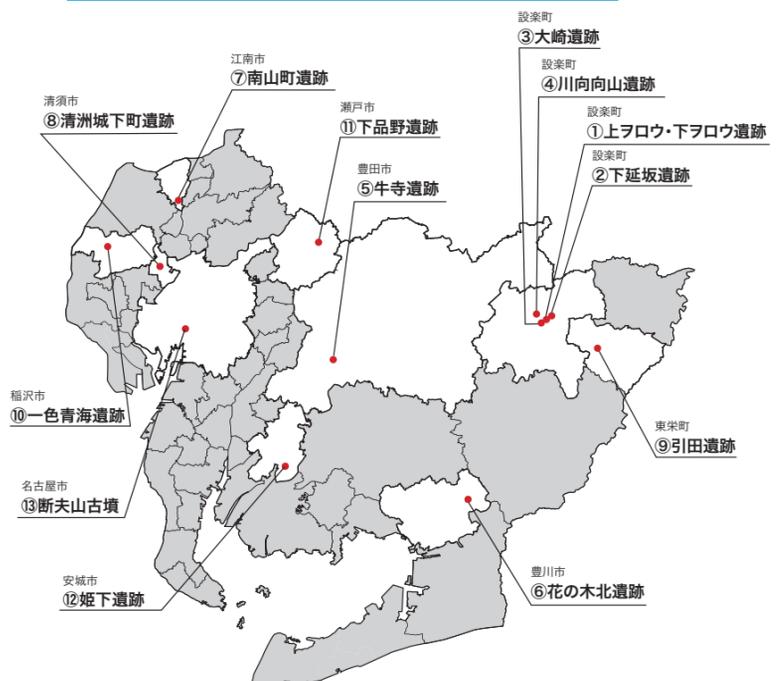
◎秋の埋蔵文化財展 今年度は弥富の調査センターの展示室を全面的にリニューアルいたします。詳細は未定ですが、期間中は関連するイベントも企画する予定です。

◎考古学セミナー「あいちの考古学二〇二一」 今年度は十二月十一日・十二日に瑞穂区にある名古屋博物館にて開催します。愛知県内を中心とした考古学に関わる人たちが集まり、それぞれの最新情報を公開するイベントで、今回が第一〇回目となります。

このほかに、年度末には「設楽ダム関連発掘調査成果報告会 新設楽発見伝8」、夏頃には「宮総合運動場にて「考古学体験」を、例年通り開催する予定です。

以上のように、本年度も積極的にさまざまな情報発信を進めてまいります。新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては予定が変更となる場合がありますが、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和3年度の調査予定遺跡



〒498-0017
愛知県弥富市前ヶ須町野方 802-24
電話：0567-67-4163
ファックス：0567-67-3054
ホームページ：http://www.maibun.com/
メールアドレス：doki@maibun.com

連続歴史講座 今年も4回開催！

型式学の考古学

最新の発掘調査成果を中心に「型式学」に焦点をあてた講座

2021考古学の祭典
考古学セミナー
2021年12月11日(土)・12日(日)
名古屋博物館にて開催！

令和3年度 発掘調査成果報告会
新設楽発見伝8
令和4年3月開催予定！

安土桃山

・黄瀬戸 大鉢
清洲城下町遺跡（清須市）
後期清須城下町の溝から出土した黄瀬戸の鉢です。内面には草文が刻され、「タンパン」とよばれる緑色の硫酸銅が施されています。安土桃山時代に美濃窯の大窯で焼成されたものと思われます。



江戸

・有田 色絵婦人座像
名古屋城三の丸遺跡（名古屋市）
三の丸家屋敷地内の大型廃棄土坑から出土しました。17世紀後半代に有田で作られた柿右衛門様式の色絵婦人座像です。立像が多いなか、数少ない座像です。また、ほとんどが伝世品で、このような完形に近い形で、遺跡から出土することは極めて珍しいことです。



春の特別公開 2021 収蔵庫に眠る逸品たち

古代
・須恵器 長頸瓶
金萩遺跡（日進市）
猿投窯の陶器生産に関わっていたとされる金萩遺跡から出土しました。全体的に赤黒く発色し、肩には濃緑色の自然釉が掛かる奈良時代後半の典型的な器です。

弥生
・弥生土器 手焙り形土器
五反田遺跡（安城市）
方形周溝墓の周溝から出土しました。上方に大きく開口する独特の形で、「手焙り形」と呼ばれていますが、はたしてどのように使われていたのでしょうか。



令和3年度 イベント案内		どなたでもお楽しみできます！	大人の方を対象としています！
4	1 (木) リニューアル	春の埋蔵文化財展『やとみ新発見展』（しんはっけんでん）！2021』 & 春の特別公開 ☆昨年度の発掘調査成果について、県内で今年度最初に展示解説を行います。また、特別にセレクトした逸品の遺物を特別公開します！ ★土日休館 予約不要・入場無料	
5	15 (土) 29 (土)	連続歴史講座『型式学の考古学』全4回 講座：要予約・参加費無料 ☆設楽地域などの最新の発掘調査成果を踏まえ、「型式学」という考古学の基本的な手法について、専門の講師が解説します。 会場：愛知県埋蔵文化財調査センター 2階研修室 時間：講座 - 午前10時30分～12時	
6	12 (土) 26 (土)	① 5月15日(土)「型式学入門」 永井宏幸 ② 5月29日(土)「縄文土器の型式学」 渡邊 峻 ③ 6月12日(土)「石器の型式学」 社本有弥 ④ 6月26日(土)「層位学と考古学」 鬼頭 剛	
8	28 (土)	いちいち信金 スポーツセンター **いちいち信金スポーツセンター 一宮総合運動場が主催します。いちいち信金スポーツセンター 一宮総合運動場は愛知県教育・スポーツ振興財団の管理施設です。 一宮総合運動場主催事業『考古学体験』要予約・参加費無料 ○開催日時：8月28日(土)午後1時30分～午後3時30分	
夏頃	未定	令和3年度『発掘体験』参加費有料 ○開催日時：未定 午後1時～3時30分 ☆上半期に中学生以上を対象とした発掘体験を調査中の遺跡でおこないます。== 詳細が決定次第 HPにておしらせします。	
夏頃	未定	朝日遺跡に関する歴史講座 講座：要予約・参加費有料 ☆昨年オープンしたあいち朝日遺跡ミュージアムに関連した、「朝日遺跡」の発掘調査成果などを、専門の講師が解説します。 会場：あいち朝日遺跡ミュージアム 2階研修室 == 詳細が決定次第 HPにておしらせします。	
秋頃	未定	秋の埋蔵文化財展「常設展リニューアル！」 ☆秋の埋蔵文化財展では、4年ぶりに常設展のリニューアルをおこないます。新しくなった常設展をお楽しみください。	
12	11 (土) 12 (日)	2021年度『考古学セミナーあいちの考古学2021』 予約不要・参加費無料 ☆愛知県内と近隣の情報を手に入れることができるビックイベント！ 日時：12月11日(土)・12日(日) 会場：名古屋博物館 地下講堂(発表)・展示説明室(ポスターセッション) == 詳細が決定次第 HPにておしらせします。	
3	上旬	設楽ダム関連発掘調査成果報告会『新設楽発見伝8』 予約不要・参加費無料 ☆令和3年度の設楽地区の発掘調査成果の報告会です。 == 詳細が決定次第 HPにておしらせします。	



▲遺物包含層

◀磨製石斧

中世の鍛冶関連 遺物が出土！

添沢遺跡

(北設楽郡設楽町田口)

添沢遺跡は設楽町田口地区、国道257号の南西側の、南北に展開する河岸段丘上に立地します。残念ながら、人々の生活の痕跡を示す遺構は検出されませんでした。中世の山茶碗、中国産青磁、鉄滓、輪羽口、鉄銚などの遺物が出土しました。

今回の調査で見つかった鉄滓、輪羽口は付近での鍛冶生産の存在を示す遺物で、出土例が少なく珍しい鉄銚も、それに関連する可能性があります。



▼花の木古墳群



▲鉄製品

古墳の埋葬施設から 鉄製品や玉類が出土！

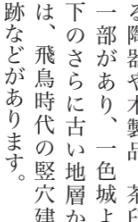
花の木古墳群・花の木遺跡

(豊川市大木町)

花の木古墳群・花の木遺跡は、本宮山山麓から広がる扇状地の末端、西原台地の縁辺に立地しています。花の木古墳群では5基の古墳を調査し、古墳時代前期後半から中期前半に築造されたことがわかりました。7号墳から鉄製品や玉類が豊富に出土しました。花の木遺跡では、弥生時代中期後半から後期にかけての集落が検出されました。良好に遺物が確認され、西原台地周辺の当時の生活を復元する上で良い調査事例と言えます。



▲一色城の西堀



戦国時代の城を 囲む堀を確認！

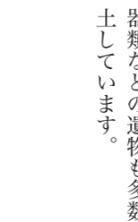
一色城跡

(稲沢市西島本町)

一色城跡は、尾張平野北西部の沖積低地に立地する、戦国時代の城館跡です。橋本伊賀守が城主だったと伝えられます。令和2年度の調査では、一色城を囲む堀の一部が、調査区の西端で発見されました。今回発見の堀と、一色城の東西の広さが1町(約109m)であったことがわかりました。遺物は、一色城に属する陶器や木製品、茶臼の一部があり、一色城より下のさらに古い地層からは、飛鳥時代の竪穴建物跡などがあります。



▲古墳時代の遺物を含む大溝



古墳時代の集落 はどこだ？

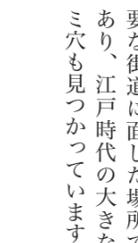
南山町遺跡

(江南市南山町)

南山町遺跡は、犬山扇状地の扇状部を流れる五条川右岸の自然堤防を中心に立地しています。周辺は富士塚古墳をはじめ多くの古墳の分布が知られています。今回の調査地点は集落の縁辺部にあり、古墳時代の土器・須恵器を含み8世紀に埋没した大溝が確認されました。また、土器・須恵器のほか灰釉陶器の椀・皿類や土師質鍋、中・近世陶器類などの遺物も多数出土しています。



▲周濠出土の埴輪



古墳を囲む、周濠を初めて確認！

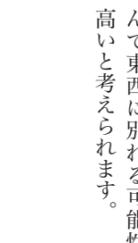
断夫山古墳

(名古屋市長久保区)

国史跡・断夫山古墳は熱田台地の南端付近に位置し、標高約6メートルの台地西側縁辺に立地しています。史跡範囲の見直しを目的とした学術調査が行われることになり、令和2年度は墳丘東側の地点にて、古墳を取り囲む周濠が初めて確認されました。今回の検出範囲では、周濠の深さは少なくとも2.3m以上認められ、須恵質・土師質の円筒埴輪片が出土しています。名古屋城から熱田を結ぶ主要な街道に面した場所でもあり、江戸時代の大きなゴミ穴も見つかっています。



▲炭化材の残る竪穴建物跡



弥生時代の竪穴建物跡や溝を発見！

亀塚遺跡

(安城市桜井町・東町)

亀塚遺跡は、安城市東部、鹿乗川に沿った沖積地に立地しており、国の重要文化財に指定された人面文土器が出土したことで知られています。今年度の調査では、弥生時代の複数の竪穴建物跡や、集落を区切っていたと思われる、幅約7mの大溝が見つかりました。また、以前の調査で確認されている旧河道の位置と、大溝の位置関係から、今回確認された集落と、人面文土器が出土した集落は、川をはさんで東西に別れる可能性が高いと考えられます。

令和2年度の発掘調査成果概要

当センターでは令和2年度に、尾張地域3遺跡、三河地域9遺跡の合計12箇所を調査し、発掘調査を行いました。このうち9遺跡について調査成果の概要を紹介します。

令和2年度の調査遺跡

- 江南市 南山町遺跡
- 豊川市 一色城跡
- 名古屋市 断夫山古墳
- 安城市 中狭間遺跡
- 安城市 亀塚遺跡
- 安城市 姫下遺跡
- 設楽町 マザノ沢遺跡
- 設楽町 下延坂遺跡
- 設楽町 上ヲロウ・下ヲロウ遺跡
- 設楽町 添沢遺跡
- 設楽町 胡桃窪遺跡
- 豊川市 花の木古墳群・花の木遺跡

設楽町で初めて 弥生時代の集落跡を発見！

上ヲロウ・下ヲロウ遺跡

(北設楽郡設楽町川向)

上ヲロウ・下ヲロウ遺跡は境川右岸の緩斜面に立地します。昨年度の調査では、近世と縄文時代の遺構が検出されました。令和2年度の発掘調査では、縄文時代中期から近世までの幅広い時代の遺構と遺物が検出されました。中でも、特に注目されるのは、設楽町で初めて弥生時代中期後葉の集落跡が検出されたことです。さらに、竪穴建物跡の一部から、周堤が検出されたことで、全国的にも貴重な調査事例となりました。また、竪穴建物跡からは、弥生土器が良好な状態で5点まとまって出土しています。

弥生土器 出土状況

◀周堤の残る 竪穴建物跡

縄文時代前期後半の 竪穴建物跡を初めて確認！

胡桃窪遺跡

(北設楽郡設楽町大名倉)

胡桃窪遺跡は、寒狭川(豊川)左岸の河川敷から河岸段丘にかけて立地します。令和2年度の調査では、山側の斜面部分において縄文時代前期後半の竪穴建物跡を1基、中期後半の竪穴建物跡を1基、平安時代中期の竪穴状遺構2基が検出されました。この内、縄文時代前期後半の竪穴建物跡と平安時代中期の竪穴状遺構は、これまで遺物はいくつかの遺跡で見つかっていましたが、遺構が検出されたのは今回の調査が初めてとなります。縄文時代前期後半の竪穴建物跡から出土した黒曜石は、長野県の和田峠産であることが判明しています。

▲縄文時代前期の 竪穴建物跡

▶平安時代の竪穴状遺構

縄文時代晩期〜弥生時代前期の 竪穴状遺構を発見！

下延坂遺跡

(北設楽郡設楽町川向)

下延坂遺跡は、境川右岸の河岸段丘上から山麓にかけての緩やかな東向き斜面に立地しています。確認できた遺構と出土遺物には、縄文時代晩期〜弥生時代前期、弥生時代中期後葉、鎌倉時代〜室町時代の大きく3時期のものがあります。この中で縄文時代晩期から弥生時代前期の遺構は、竪穴状遺構9基と土坑123基が確認され、遺跡の広い範囲に分布することがわかってきました。調査された範囲は集落の一部分ではありますが、当時の人々の生活が一つの場所に集中するのではなく、場所を変えながら営まれた様子を推定できるようになりました。

◀弥生時代の土器

▶中世の土坑群